



巻頭言

長かった COVID-19 の流行と感染予防の日々を経て、この度 2023 年 4 月より、琉球大学附属図書館はすべての機能とサービスを「コロナ前」に戻しました。講義が対面授業に戻り、人数制限などの制約も撤廃され、新たに新入生を迎えたキャンパスは、嬉しいことに学生たちが行きかい、活気を取り戻しています。図書館でも新入生、新学期に対応したセミナー・ワークショップが開催されており、順調に参加いただいています。

この 3 年間、皆さんはどのように過ごし、何を学んだでしょうか？ 2 年次生以上の皆さんの多くが入学時から様々な活動が制限され、オンライン授業を受けながら、図書館に足を運ぶこともないままの大学生活を過ごされてきたと思います。そのような中での図書館は、人との接触を最小限に抑えた資料貸出、最小限の自学自習の場であったことでしょう。コロナ禍の中で書籍・資料、サービスが電子化され、LINE を活用した学修相談も実施してきました。しかし、本来、図書館にはラーニング・コモンズという、友人と声を出してのグループワークも可能な場所があり、各種イベントも活発に実施していました。コロナ後となった今こそ、このような「共に学ぶ場」としての図書館の機能を、ぜひ活用してください。新入生の皆さんも「大学の図書館」を使いこなすべく、スタートダッシュしましょう！

コロナを経て新たな時代に向かう皆さんを図書館は全力で応援します。古き良き図書館と、時代のニーズに合わせたサービスを融合させ、利用くださるすべての皆さんの学びに寄り添う、そんな図書館を目指したいと思います。

(東矢 光代：琉球大学附属図書館長)



目次

- | | |
|---|--|
| 1…巻頭言 | 6…第 16 回琉球大学びぶりお文学賞選考結果 |
| 2…GakuNinRDM 利用開始・FD 開催 | 7…びぶりお文学賞受賞者の言葉 |
| 2…ハワイ大学マノア校図書館から無償で文献コピー・
図書の取り寄せが可能！ | 8…館内企画展を通じて学びの機会を提供 |
| 3…勉強の悩みごと、LINE で相談しませんか？ | 10…「つながる！ 復帰 50 年と琉球大学」を開催 |
| 3…『琉大生のための情報リテラシーガイドブック』
改訂版を公開しました | 11…令和 4 年度 琉球大学附属図書館・琉球大学博物館
(風樹館) 合同企画展を開催 |
| 4…電子ジャーナル・データベースの利用のすゝめ | 11…図書館所蔵資料が利用された出版等 |
| 5…「2024 年以降の学術資料整備に向けた実態調査」
を実施しました | 12…図書館日誌 |
| 5…附属図書館 FD「高等教育機関向け電子教科書の活
用事例と 開発事例」を開催しました | 13…図書館データ集 (2022 年度) |
| | 14…図書館組織図 |



琉球大学附属図書館ウェブサイト

URL : <https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

各種 SNS もやっています！



https://twitter.com/ryukyus_lib



https://www.instagram.com/ryukyus_lib



<https://booklog.jp/users/ryukyus-lib>



<https://www.youtube.com/channel/UCaO7QIBLwiOSRIOgQhK2x3A>

図書館からのお知らせは
要チェックだよ☆



GakuNinRDM 利用開始・FD 開催

2023年1月に、研究データ管理システムである「GakuNin RDM」の全学的な利用を開始しました。

GakuNin RDM は、2021年4月27日付け統合イノベーション戦略推進会議「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」で利用が推奨されている研究データ基盤（NII Research Data Cloud）の一角をなすものです。

2023年2月には、GakuNin RDM の提供元である国立情報学研究所より講師を招き、FD「研究データ管理システム GakuNin RDM の使い方・研究者にとってのメリット」をオンラインで開催しました。研修では当該システムの基本的な利用方法や研究者にとってのメリットについて、デモを交えながら紹介いただきました。70人の教職員が参加し、活発な意見が飛び交い、今後の GakuNin RDM の利活用に向けて、有意義な研修となりました。

※ GakuNin RDM については、図書館ウェブサイトの「オンラインサービス＞研究データ管理システム GakuNin RDM (https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/gakunin_rdm/)」でも紹介しています。



ハワイ大学マノア校図書館から無償で文献コピー・図書の取り寄せが可能！

2022年8月に、ハワイ大学マノア校図書館との文献コピー・図書の取り寄せを無償とする覚書を再締結しました。

今回の再締結により、引き続き、琉球大学とハワイ大学マノア校の学生及び教職員は文献コピー・図書を無償で取り寄せることができますので、ぜひご活用ください。

【申込方法】

1. 申し込みの前に、ハワイ大学マノア校図書館蔵書検索 (https://uhawaii-manoa.primo.exlibrisgroup.com/discovery/search?vid=01UHAWAII_MANOA:MANOA&lang=en) でハワイ大学マノア校図書館に所蔵があることを確認します。
2. My Library (<https://opac.lib.u-ryukyu.ac.jp/portal/portal/selectLogin/>) にログインします。
3. 「他機関から資料を取寄せ」をクリックし、「ILL 新規依頼」の「新規複写依頼」または「新規貸借依頼」ボタンをクリックします。
4. 資料情報など必要な情報を入力します。
※申込フォームの連絡事項欄に「ハワイ大学マノア校から取寄せ希望」と明記してください。
5. 入力内容を確認して「依頼を行なう」をクリックすれば、申込み完了です。

※対象資料はハワイ大学マノア校図書館の所蔵資料ですが、資料の状態によっては取り寄せできない場合があります。

勉強の悩みごと、LINEで相談しませんか？

本館2階ラーニング・commonsで、ラーニング・サポートデスクを開設しています。ここでは、琉球大学の大学院生TA（ティーチング・アシスタント、以下TA）が、レポートの書き方や大学での勉強のコツ等を学部生へアドバイスする学修支援を行っています。

対面だけでなくオンラインでも相談でき、2022年5月からはLINEを導入しました。これまでのオンライン相談はZoomで行っていましたが、質問をする側もされる側もZoomへのアクセスに手間がかかっていました。一方で、LINEは友だち追加をするだけで、どこにいても相談できます。

こんな大学院生TAがいます！／

9人の院生さんがみなさんをサポートします

	化学系	数学系	物理系
専門分野	化学	数学 (特に代数学)	物理学 (特に物性物理学)
対応言語	日本語	日本語	日本語
その他 サポート できること	・化学の基礎に関する 化学に関する勉強法	・数学(学部1～ 2年次向け)、 数検準2級、教員 採用試験に関する こと	・物理全般(学部 生向け) ・物理数学 ・数値計算 など
	生物系 教育系	文学系I	文学系W (留学生)
専門分野	生物学 教育学	日本近現代文学	文学 (世界近現代史)
対応言語	日本語	日本語	日本語、English、 Español、 Português
その他 サポート できること	・教職(小～高、 司書資格) ・学芸員資格 ・履歴書 ・教職(中・高の国 語、教員採用試 験) ・卒論 ・履歴書	・外国語でのレ ポート作成 ・英語/日本語の 学習方法 ・留学準備	
	社会系	観光系 (留学生)	歴史系
専門分野	社会学	文化遺産学	沖縄近現代史
対応言語	日本語	日本語 中国語	日本語
その他 サポート できること	・政治、国際関係 学に関すること	・中国語の勉強方 法 ・TOEICの勉強方 法 ・日本語能力試験 の勉強方法	・学芸員資格 ・卒論 ・WordやExcelの 操作方法、関連 試験

回答はラーニング・サポートデスクの開設時間にTAが行うため、Zoomに比べると即時性は低くなりますが、相談したいことを事前に確認してから質問できるため、気軽に相談しやすくなっていると思われます。この一年でオンライン相談の件数は5件から30件へ増加し、リピーターや対面相談につながる例もありました。QRコードから友だち追加できますので、いざというときのために、ぜひ友だち追加をお願いします。

LINEの友だち追加はこちら／



最新の情報はこちら：<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/support/learning/>

『琉大生のための情報リテラシーガイドブック』改訂版を公開しました

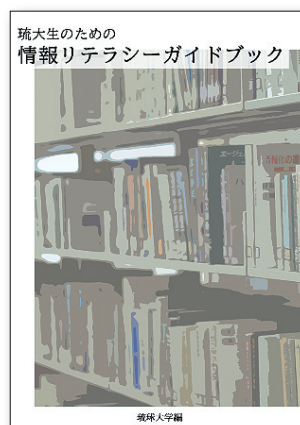
『琉大生のための情報リテラシーガイドブック』（以下、ガイドブック）の改訂版を図書館ウェブサイトで公開しました。

このガイドブックは、新入生を主な対象とし、レポートの書き方の基本や著作権と引用、学内のネットワーク環境や図書館の活用法、英語多読や研究倫理について紹介しています。また、図書館で学修支援に携わる大学院生（TA）による大学生活や学修に関するコラムも掲載しています。

これまでは、冊子版と電子版を発行していましたが、2023年度版からは電子版（PDF）のみとなっています。電子版のみとすることで、内容の改訂を簡単に行えるため、常に最新の情報を提供することができるようになりました。

また、ガイドブックとともに確認してほしいウェブサイトや、ガイドブック内の別のページにジャンプする機能が付いています。「リンク」、「目次（しおり）」、「文字検索」機能を使って、パワーアップした『琉大生のための情報リテラシーガイドブック』をぜひご活用ください。

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/support/literacy/>



電子ジャーナル・データベースの利用のすゝめ

琉球大学では、学修・研究に役立つツールとして、さまざまな電子ジャーナル・データベースを提供しています。以下のページからそれぞれ一覧を確認いただけます。

- ・電子リソースポータル

<https://sg3jk3se8d.search.serialssolutions.com/>

- ・データベース一覧

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/page-471/>

最新の研究成果が掲載される電子ジャーナルや国外・国内の新聞記事データベース、オンラインの百科事典ツールなど、さまざまなコンテンツが存在します。これらを自由に利用できるのは、大学生の特権ですので、ぜひ在学中にご活用ください。

電子ジャーナルやデータベースは、基本的には学内のネットワークからのみアクセスできるように設定されていますが、「学認」や「VPN 接続」というサービスを利用することで、自宅からも利用できます。詳しくは「電子リソース /e-Resource の利用について」(<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/uncategorized/11122/>)」をご覧ください。

便利な電子ジャーナルやデータベースですが、利用する際に特に注意してほしいことが2つあります。

1. 機械的なダウンロードの禁止について

電子ジャーナルの利用において、アプリやプログラム等を利用し、全論文を自動的にダウンロードする行為は禁止されています。本文を読めないようなタイミングで次々に画面を開く行為も不正アクセスと判断される場合がありますので、ご注意ください。

2. 利用回数に制限のあるコンテンツについて

一部のコンテンツはチケット制となっており、利用回数に限りがあります。

ダウンロードした PDF は手元に保管しておくなど、適正な利用にご協力をお願いします。チケットはあらかじめ大学が購入したものを利用しておりますので、利用者個人への負担が発生することはありません。安心してご利用ください。

注意点についても、詳しくは「電子リソース /e-Resource の利用について」(<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/uncategorized/11122/>)」でご案内しています。



「2024年以降の学術資料整備に向けた実態調査」を実施しました

琉球大学では、さまざまな学修・教育・研究用の全学的な電子ジャーナル・データベース・雑誌を提供しています。電子ジャーナルやデータベースは元々の高額なサービスであることに加え、2022年に急激な円安が進んだことなどの要因で、現状維持も難しい状況が続いています。

少しでも安定的にこれらの学術資料を提供していくために、本学では3か年周期で中期的な整備方針を定めています。また、2024年以降の整備方針の検討のため、現状の課題やニーズ把握のため、実態調査を行いました。概要は以下のとおりです。

調 査 名：2024年以降の学術資料整備に向けた実態調査

実施期間：2022年10月12日～10月31日

方 法：Microsoft Forms によるオンライン調査

回 答 者：188名

実態調査の実施報告は以下のページに掲載しています。調査の中で寄せられた質問や要望にも一部回答しておりますので、ご覧ください。

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/11247/>

引き続き、調査結果を踏まえて、よりよい学術資料の利用環境構築に向けた全学的な議論を行っていきます。

附属図書館FD「高等教育機関向け電子教科書の活用事例と開発事例」を開催しました

開催日時：2022年10月28日 10時20分～11時50分

開催方法：Zoom 配信

参 加 者：45名

講演者：

- ・二瓶 裕之氏（北海道医療大学 薬学部教授・情報センター長）
- ・田端 勇氏（丸善雄松堂 電子ソリューション開発センター）

図書館の蔵書としても電子書籍が一般化しつつある昨今、大学で使用される教科書も電子書籍で提供されるケースが増えてきました。

本学の図書館でも、徐々に電子書籍や電子ジャーナルの導入と利用が増えてきています。

そのような状況を鑑み、教科書としての電子書籍の活用事例と開発事例を通して高等教育機関向けの電子教科書の利点や問題点を学ぶことを目的として、附属図書館FD「高等教育機関向け電子教科書の活用事例と開発事例」を開催しました。

当日は多くの教員、職員、役員の参加があり、電子教科書のメリットとデメリット、導入に向けた取り組みやプラットフォームの紹介など、実際に電子教科書を活用して教育活動を行っている北海道医療大学の事例を交えたお話を聞くことができました。

終了後のアンケートでは、今後教科書として電子書籍を利用したい、大学におけるDXの実例を知ることができてよかったなどの意見がありました。



第16回 琉球大学びぶりお文学賞 選考結果

2022年6月から作品を募集しました「第16回 琉球大学びぶりお文学賞」は10月31日に募集が締め切られ、小説部門に8編、詩部門に32編の応募がありました。11月29日・12月2日両日に行われた選考の結果、下記のとおり受賞作品を決定しました。

【小説部門】

受賞作（正賞）

『機械少女の亡霊』 宮森 日向（琉球大学 人文社会学部国際法政学科2年）

佳作2編

『ゲットウの炎』 はらの（琉球大学 理学部海洋自然科学科3年）

『蜜吸い』 二藤（沖縄国際大学 総合文化学部日本文化学科3年）

【詩部門】

受賞作（正賞）

『宝物の音』 木兎（琉球大学 農学部亜熱帯地域農学科2年）

佳作5編

『欠落』 藍原 知音（琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科1年）

『不夜城の朝』 長嶺 勝磨（沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科博士後期課程3年）

『永眠』 ゆめうつつ（沖縄国際大学 総合文化学部日本文化学科4年）

『振り子』 千羅（琉球大学 国際地域創造学部国際地域創造学科4年）

『或る航海士の置手紙』 井出 麟（琉球大学 理学部海洋自然科学科3年）

受賞作品をまとめた作品集を図書館ウェブサイトでも全文を公開していますので、ぜひご覧ください。

○バックナンバー 一覧（びぶりお文学賞）

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/about/biburio-award/page-1193/>



第16回 琉球大学びぶりお文学賞授賞式

2023年2月28日に、授賞式を執り行いました。今回は、本館2階ラーニング・コモンズにて、3年ぶりの対面方式による開催となりました。

授賞式では、賞状・副賞授与後、受賞者より作品への想いや執筆時のエピソードが語られました。その後、牛窪潔理事の祝辞に続いて、各部門の選考委員から入賞作品について講評が述べられました。授賞式では、出席者同士が交流する様子も見られ、和やかな雰囲気の式となりました。



第16回 琉球大学びぶりお文学賞授賞式

びぶりお文学賞受賞者の言葉

【小説部門】

『機械少女の亡霊』 宮森 日向

歯磨きの最中や、運転中のふとした瞬間などに、唐突に強烈な恥の感覚を覚え、生きていくのが面倒になってしまうことが多いタイプです。そういう瞬間は、自分を繋ぎ止めてくれるものを一つでも多く持っているかどうかが肝要となってきます。

この度は正賞に選んで頂き誠にありがとうございます。

拙作『機械少女の亡霊』はSF要素を含みますが、基本テーマは「現代を生きる若者の等身大の葛藤」です。多くの人に共感してもらえる内容だと思います。また外向きの批判的視点も常に意識し、特に中盤の社会変動の描写には時間を費やしました。ここ数年のあらゆる出来事により、世の中というものが不変でも何でもなく、むしろ一瞬で様変わりするというところを、私を含む多くの若者が肌身で理解しました。その学びは、本当に大切なものは何かについて見つめ直すチャンスでもあったようで、そういった意味でも、本作は私にとって特別なものとなっています。

改めまして関係者各位並びに琉大文芸部の皆、そして制作を手伝ってくれた方にこの場を借りて感謝申し上げます。

【詩部門】

『宝物の音』 木兎

この度はこのような賞を受賞させて頂き、誠にありがとうございます。今でも受賞したことが信じられず、夢でも見たのではないかと選考結果のお知らせを何度も確認しています。

詩を読んで頂いた方の多くはお気づきでしょうが、この詩は沖縄の楽器、三線をイメージしています。祖父は三線を弾く事が好きで、家に遊びに行く度に窓際で楽しそうに弾いていたのを覚えています。幼い頃から聞いていた三線の柔らかな音と窓から差し込む優しい日差しを思い出し、この音がガジュマルの木の下で聞けたらきっと素敵だろうなと思いながら詩を書かせて頂きました。この詩で柔らかな何かを感じて頂けたら幸いです。沢山の詩から私の詩が選ばれたことは大変嬉しく、また、これからも創作活動ができればと思います。

改めまして、琉球大学びぶりお文学賞に関わった全ての方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

■第17回の募集について

「第17回びぶりお文学賞」の作品は2023年10月24日まで募集しています（最終日の提出締切は17時まで）。

学生の皆さまの挑戦をお待ちしています。

応募要領など詳しくは図書館ウェブサイトをご確認ください。

【作品募集】第17回琉球大学びぶりお文学賞

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/11806/>

館内企画展を通じて学びの機会を提供

当館では、多様なテーマの企画展を開催し、学生が当該テーマについて考える機会を提供しています。

2022年度は、本学が特に力を入れているSDGsに関連したものなど、以下の企画展を開催しました。各企画展では、テーマに関連する図書館所蔵資料や学内教員の研究、学内外の取組を併せて紹介したほか、特設サイトを開設し、直接来場できない利用者に向けたオンラインコンテンツを配信しました。企画展には学内外から参加があったほか、本学オープンキャンパスに合わせて開催したEU資料展「ヨーロッパを読む」や企画展「うない文庫からSDGsを考える」には多くの高校生が来場しました。

■「とりあえず、図書館行こ！」

期間：2022年4月1日～5月31日

場所：本館2階ラーニング・コモンズ、医学部分館1階ロビー

4月から本学で学生生活を送る新生を主な対象とし、学修や情報収集の場である図書館の基本的な使い方やレポートの作成方法、アルバイト、自炊など、学修面・生活面の両方から学生にとって役立つ情報を提供しました。

本企画展では、テーマに関連する図書館所蔵資料のほか、本館で開設しているラーニング・サポートデスクで学修支援に携わる大学院TAが執筆した、学生生活におけるアドバイスも紹介しました。また、図書館の入館方法や本の借り方など、図書館の基本的な利用方法をコンパクトにまとめた動画も多数配信しました。

※これまで当館で作成した動画は、当館YouTubeチャンネルで配信しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCaO7QIBLwiOSRIOgQhK2x3A>



■ EU資料展「ヨーロッパを読む」

期間：2022年6月20日～8月31日

場所：本館2階国際資料室前

当館は国内に18あるEU情報センターの一つに指定されています。EU資料展は、駐日欧州委員会代表部が毎年5・6月を中心としてEUに関する理解を深めることを目的に開催する「日・EUフレンドシップウィーク」に合わせて開催しています。

2022年度は3年ぶりにEU資料展を開催し、「ヨーロッパを読む」と題して展示を行いました。テーマに関連する図書館所蔵資料のほか、本学教員執筆によるEU加盟国の文学を紹介したパネルを展示しました。



■「うない文庫からSDGsを考える—女性のキャリア・生き方—」

期間：2022年7月13日～8月31日

場所：本館3階ホール

当館では、「生き方の多様性を応援する」をテーマに、「うない文庫」コーナーを設置し、キャリアデザインや女性・男性問題、多様な性などに関する図書を紹介しています。

この企画展では、本学のジェンダー協働推進室と連携し、SDGsの目標の一つである「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、「女性のキャリア・生き方」にスポットを当てました。特に「研究者としてのキャリア」をメインテーマとし、本学で活躍する女性研究者の研究や取組、著書の紹介及び本学の女子学生の意欲的な研究活動・社会貢献等の活動を表彰する「うない奨励賞」を受賞した大学院生の研究活動についての紹介を行いました。



■企画展「医療への信頼—河田真智子の写真から考える—」

期間：2022年10月19日～11月30日

場所：本館2階ラーニング・コモンズ、医学部分館1階ロビー

SDGsが目指す「多様性の尊重」「誰一人取り残さない社会の実現」に関連する企画展として、「医療への信頼」をテーマとし、SDGsの目標の一つである「すべての人に健康と福祉を」にスポットを当てました。

この企画展では地域医療に関する図書館資料や学内の関連する取組を紹介したほか、写真家の河田真智子氏にご協力いただき、最重度の障害をもって生まれたご息女と、彼女を支え続けてきた医療従事者の姿を記録した写真を展示しました。

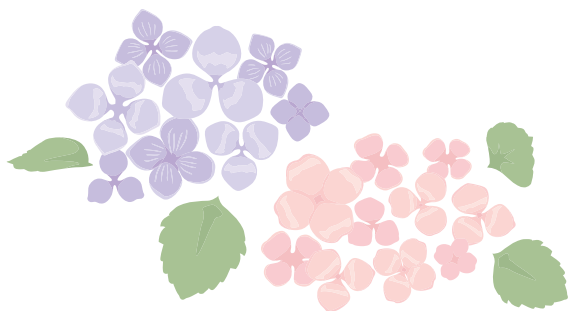
また、企画展初日には河田氏によるギャラリートークを開催し、60名の方にご参加いただきました。アンケートにおいて参加者の満足度は高く、「様々なことを学ぶことができた」「話者から直接思いを聞けよ経験になった」といった声が寄せられました。



「医療への信頼」企画展会場



「医療への信頼」ギャラリートーク



「つながる！ 復帰 50 年と琉球大学」を開催

昨年、2022 年は沖縄の「日本復帰」から 50 年目の節目の年でした。また、米軍統治下の 1950 年に産声を上げた琉球大学にとっても、「復帰」は重要な節目のひとつでもありました。

図書館では、2022 年 5 月～6 月にかけて本館 3 階にて学内企画展「つながる！ 復帰 50 年と琉球大学」を開催しました。沖縄の戦後史と琉球大学が経験した「復帰」の歴史を豊富な写真資料や解説パネルで展示し、さらに関連する図書資料の紹介を行いました。

期間中は多くの学生・教職員をはじめ、学外からも 166 人の見学者が来場しました。また、特設ページ(<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/8563/>)や YouTube(<https://youtu.be/YIU9oEFLI6M>)での動画配信、SNS での広報など、直接来場できない利用者に向けたオンラインコンテンツの充実も図っています。

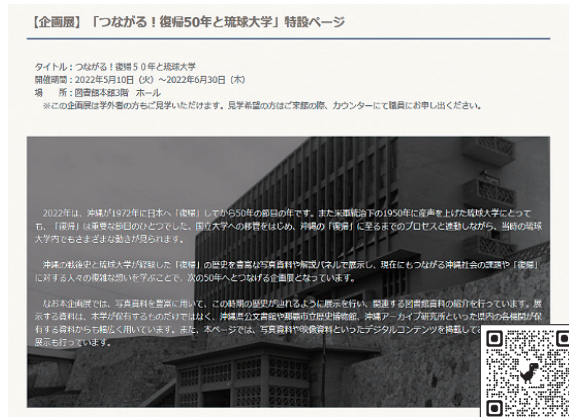
2022 年の「復帰 50 年」に絡めた企画を組むにあたって、図書館では一過性の「〇周年企画」にならないよう、6 月以降も関連する取り組みを継続的に実施しました。学外企画展（南風原町立南風原文化センター）においても、「復帰 50 年と琉大」に関する展示を行い、さらに座談会「50 年前の琉大を語る」を実施しました。

5 月から 12 月まで継続的に実施した「復帰 50 年と琉大」に関するアンケートの結果や、南風原での座談会を通して、「復帰」に対するさまざまな想いや関わり方、さらには復帰後に生まれた世代のイメージや意識をお聴きすることができました。この内容については、2023 年 1 月～3 月まで本館 2 階ラーニング・ commons にて、フィードバック展示を行いました。

今回の「復帰 50 年と琉大」に関する一連の取り組みを通して、改めて琉大という自分たちの足元から「沖縄の日本復帰とはなんだったのか？」を学び、考える機会となりました。



展示風景（本館 3 階）



「つながる！ 復帰 50 年と琉球大学」特設ページ



展示解説動画（図書館 YouTube チャンネル）



フィードバック展示の展示風景（本館 2 階）

令和4年度 琉球大学附属図書館・琉球大学博物館（風樹館）合同企画展を開催

琉球大学では地域貢献の一環として図書館及び琉球大学博物館（風樹館）の合同企画展を毎年行っており、所蔵資料を学外に公開しています。2022年度は南風原町教育委員会との共催による合



同企画展「琉球大学資料にみる南風原～自然と歴史～」を、9月10日～10月2日の期間、南風原町立南風原文化センターにて開催しました。

同展では「自然と歴史」をテーマに、本学所蔵の南風原関連の貴重資料公開のほか、南風原町立南風原文化センター所蔵の幾つかの実物資料、同センターと風樹館所蔵の織物標本、さらに図書館が所蔵する裂地集等の織物関連資料を同時

に展示するなど、新しい試みも行いました。

また、展示資料に関連した講座「近世の南風原」（講師：麻生伸一氏）、南風原在住の琉大OB及び現役琉大生各2名による座談会「50年前の琉球大学を語る」、沖縄の染織に関する研究者3名による座談会「織物トークセッション」（平良次子氏・仲間伸恵氏・久貝典子氏）も開催され、その様子は当館のYouTubeチャンネルで視聴可能です。



<https://www.youtube.com/channel/UCaO7QIBLwiOSRIOgQhK2x3A>

図書館所蔵資料が利用された出版等

書名・展示会等	提供した資料	日付
日本語版 Journeys in Japan 「西表島 幻のヤマネコを追って」	Bull 文庫ガラス乾板写真 (Slide No.48) 『Entrance to Coal Mine』	放送日：2022年7月20日
『琉球沖縄歴史』No.4	原忠順文庫 (HA007) 『[衛生協議会之義開申] 』	刊行日：2022年8月31日



図書館日誌(2022年4月1日～2023年3月31日)

月日	事項
4月1日	企画展「とりあえず、図書館行こ！」を開催(5月31日まで)
4月5日・6日	セミナー「先輩に聴く！履修登録の方法」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
5月10日	企画展「つながる！復帰50年と琉球大学」を開催(6月30日まで)
5月20日	第1回附属図書館自己点検・評価委員会(オンライン会議)
5月31日	セミナー「先輩に聴く！歴史学の学び方～史料読解編～」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
6月1日	第16回琉球大学びぶりお文学賞募集開始
6月1日	企画展「JICA 沖縄 SDGs パネル展」を開催(6月15日まで)
6月20日	EU 資料展「ヨーロッパを読む」を開催(8月31日まで)
6月20日	第1回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
6月20日	第1回附属図書館運営委員会(オンライン会議)
6月30日	第1回附属図書館医学部分館運営委員会(書面会議)
6月30日	セミナー「先輩に聴く！中国語学習のヒントとコツ」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
7月4日	第2回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(オンライン会議)
7月7日	セミナー「先輩に聴く！司書教諭資格のすすめ」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
7月13日	企画展「うない文庫からSDGsを考えるー女性のキャリア・生き方ー」を開催(8月31日まで)
7月15日	セミナー「先輩に聴く！大学院進学のアドバイス」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
7月20日	令和4年度第1回附属図書館沖縄関係資料専門委員会(オンライン会議)
8月10日	ハワイ大学マノア校図書館との文献コピー・図書貸借を無償とする覚書を再締結
8月22日	第3回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(オンライン会議)
9月1日	第2回附属図書館医学部分館運営委員会(書面会議)
9月5日	第1回琉球大学出版会準備ワーキンググループ(対面会議)
9月10日	令和4年度琉球大学附属図書館・博物館(風樹館)企画展「琉球大学資料にみる南風原～自然と歴史～」開催(場所:南風原町立南風原文化センター、10月2日まで)
9月27日	第4回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
10月7日	第2回附属図書館自己点検・評価委員会(書面会議)
10月12日	学術雑誌等の整備方針に関するアンケート実施(10月31日まで)
10月19日	企画展「医療への信頼ー河田真智子の写真から考えるー」を開催(11月30日まで)
10月24日	セミナー「先輩に聴く！早期就活のすすめ」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
10月28日	附属図書館FD「高等教育機関向け電子教科書の活用事例と開発事例」(オンライン、外部講師招聘)
10月31日	第16回琉球大学びぶりお文学賞募集締切

月日	事項
11月8日	セミナー「先輩に聴く！化学実験の進め方」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
11月16日	エコクリーンデー
11月18日	第2回琉球大学出版会準備ワーキンググループ(オンライン会議)
11月29日	第16回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会(詩部門)
11月30日	Web of Science オンラインセミナー(オンライン、講師：データベース提供元担当者)
11月30日	EndNote Online オンラインセミナー(オンライン、講師：データベース提供元担当者)
12月1日	第3回琉球大学出版会準備ワーキンググループ(書面会議)
12月2日	第16回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会(小説部門)
12月5日	附属図書館防災訓練
12月9日	第16回琉球大学びぶりお文学賞選考結果公表
12月20日	第5回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
12月20日	セミナー「先輩に聴く！学芸員資格取得のすすめ-文系編-」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
12月21日	セミナー「先輩に聴く！学芸員資格取得のすすめ-理系編-」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
1月16日	令和4年度琉球大学附属図書館・博物館(風樹館)企画展「琉球大学資料にみる南風原～自然と歴史～」リバイバル展を開催(3月24日まで)
1月16日	研究データ管理システム GakuNin RDM の全学利用開始
1月17日	第6回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
1月25日	第2回附属図書館沖縄関係資料専門委員会(書面会議)
1月25日	セミナー「先輩に聴く！絵で考える数学～グラフ理論 超入門～」(対面+YouTube配信、講師：大学院生TA)
2月1日	第7回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(オンライン会議)
2月19日	琉球大学附属図書館学外企画展「おでかけ貴重書、久米島へ行く！」を開催(場所:久米島博物館)
2月22日	FD「研究データ管理システム GakuNin RDM の使い方・研究者にとってのメリット」を開催(オンライン、講師：システム提供元担当者)
2月28日	第16回琉球大学びぶりお文学賞授賞式
3月1日	第3回附属図書館沖縄関係資料専門委員会(書面会議)
3月3日	第8回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
3月7日	第4回琉球大学出版会準備ワーキンググループ(オンライン会議)
3月8日	第1回琉球大学学術リポジトリ運営委員会(書面会議)
3月10日	第2回附属図書館運営委員会(オンライン会議)
3月13日	第3回附属図書館医学部分館運営委員会(書面会議)
3月27日	第9回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)

図書館データ集（2022年度）

※特に記載のない限り、2023年3月末現在のデータです。

■施設について

	総面積（㎡）	収容可能冊数 （万冊）	座席数 （席）
本館	9,950	103	830
医学部分館	1,403	14	182

■図書蔵書数（冊）

本館	和	610,582
	洋	252,664
	計	863,246
医学部分館	和	57,629
	洋	42,269
	計	99,898
全体	和	668,211
	洋	294,933
	計	963,144

■雑誌所蔵タイトル数（種）

本館	国内	12,107
	国外	5,794
	計	17,901
医学部分館	国内	2,244
	国外	1,443
	計	3,687
全体	国内	14,351
	国外	7,237
	計	21,588

■年間図書受入冊数（冊）

本館	和	5,604
	洋	195
	計	5,799
医学部分館	和	810
	洋	42
	計	852
全体	和	6,414
	洋	237
	計	6,651

■年間雑誌受入タイトル数（種）

本館	国内	995
	国外	149
	計	1,144
医学部分館	国内	183
	国外	8
	計	191
全体	国内	1,178
	国外	157
	計	1,335

■年間電子資料購読数

電子ブック（点）	和	3,909
	洋	3,694
	計	7,603
電子ジャーナル （種）	国内	4
	国外	32,961
	計	32,965

■年間資料購入費（千円）

図書	29,798
雑誌	17,502
電子ジャーナル・ データベース	183,687
計	230,987

■年間開館日数（日）

本館	336
医学部分館	345

■奉仕対象者数（人）

本館	8,434
医学部分館	3,315

2022年5月1日現在

■年間入館者数（延べ人数）

本館	137,007
医学部分館	31,895

■年間貸出冊数（点）

本館	68,857
医学部分館	9,553

■ILL（図書館間相互貸借）年間利用数

本館	貸借（冊）	借受	283
		貸出	411
	複写（件）	依頼	994
		受付	419
医学部分館	貸借（冊）	借受	8
		貸出	5
	複写（件）	依頼	318
		受付	806

■年間レファレンス件数（件）

本館	647
医学部分館	376

■図書館職員・TAによる講義等開催状況

開催回数（回）	98
受講者数（人）	3,329

■ラーニング・サポートデスク相談受付件数（件）

相談受付件数	220
--------	-----

■アクティブ・ラーニングエリア予約利用件数

予約利用件数	35
--------	----

* 授業・学内行事等で利用された件数。

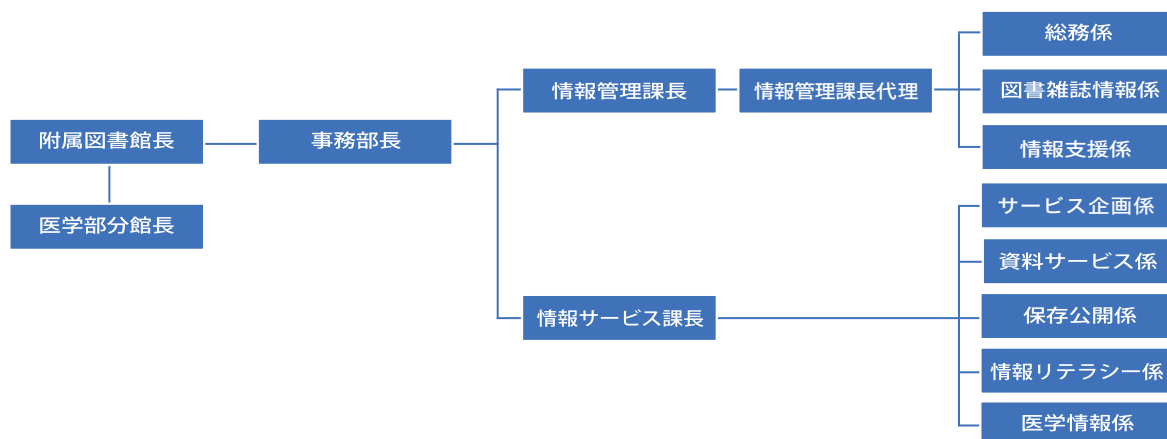
■琉球大学学術リポジトリ総登録件数（件）

登録件数	15,696
------	--------

図書館組織図

当館では、2023年4月1日付けで組織改編を行いました。

学術成果の発信やオープンサイエンス等、図書館に求められる新たな業務に対応するため、情報管理課に情報支援係を新設したほか、図書情報係と雑誌情報係を統合し、図書雑誌情報係としました。



【奥付】 琉球大学附属図書館報「びぶりお」第56巻（通巻第173号）
発行日：2023年6月
編集・発行：琉球大学附属図書館

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL：098-895-8161
E-mail：tskikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp